

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



「ふれあい」の光景です。知的に障がいを持つ人と、それを支えるボランティアで月曜から土曜の10時から16時まで開かれています。

「ふれあい」のお客様は、公民館の利用者が大半です。顔なじみの常連のほか、駅前という立地条件のよさから、ぶらりと立ち寄る人もいます。「意外と地元の人たちには知られていないですよ」と、スタッフは、残念がっています。

「障がいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

障がいの社会教育機能を持つ場を地道に追い求め、大きな花を咲かせることができました。「ふれあいから広がる」輪「ふれあい」は、障がいをを持った人3人を中心に、常勤のスタッフ、補助のスタッフで運営されています。ほとんどが地域の女性で、知人の紹介やお客様として「ふれあい」を利用し、自分から協力を申し出た人などで、年齢も様々です。

**ムービールーム柳沢** 柳沢公民館

場 柳沢公民館  
 日 当日、上映30分前から受付をします。直接視聴覚室までお越し下さい。上映時間前に入場にご協力お願いします。  
 定 50人(先着順となります。定員に達した場合、入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。)

**「羅生門」**  
 (1950年・日本) 1時間28分  
 5月9日(水) 14時~  
 監督・黒澤明  
 脚本: 黒澤明、橋本忍  
 出演: 三船敏郎、森雅之、京マチ子、志村喬 他

**「ベンジャミン・バトン 数奇な人生」**  
 (2008年・アメリカ) 2時間47分  
 5月25日(金) 19時~  
 監督: デヴィッド・フィンチャー  
 脚本: エリック・ロス  
 出演: ブラッド・ピット、ケイト・ブランシェット 他

「ふれあいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

「ふれあいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

「ふれあいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

「ふれあいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

「ふれあいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

「ふれあいの社会参加はふれあいか」を合言葉に、「ふれあい」は、昭和62年春、柳沢公民館開館と同時にオープンしました。きっかけは、市民参加の柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会が発足したことでした。そこで「障がいを持つ人と持たない人がともに触れ合う社会教育の機能を持つ場が欲しい」という委員の熱意と障がい者団体からの要請によって、このコーナーが作られました。都内でも2番目の設置でした。先駆的な活動でスタートした喫茶コーナーですが、今や全国で300店舗までに同様の活動が広がっています。

**開店25周年!**

**喫茶コーナー「ふれあい」は**

**皆がたのび一緒に歩んできました**

柳沢公民館のロビーの片隅に喫茶コーナーがあるのをご存知ですか。今年25周年を迎える喫茶コーナー「ふれあい」についてご紹介します。

柳沢公民館内 **喫茶コーナー**

**ふれあい**

オープン 月~土 午前10時~午後4時  
 定休日 日・祝祭日・第4月曜日

喫茶コーナー「ふれあい」は、行政や多くの市民の方々のご支援により1987年(昭和62年)9月にオープンしました。障害者を中心にみんなで協力して運営を続けています。

田無特別支援学校の卒業生も頑張っています。是非いらしてくださいね。

私たちが「ふれあい」が大切にしているのは3つの場!!

- \* 市民とのふれあいの場
- \* 障害者の自立と力を育てる場
- \* 障害者の働く場

西東京市障害者福祉をすすめる会 喫茶コーナー運営委員会